

佐藤達也氏ら 東京・池袋で平成生まれの若手9人

「僕らの書展2014」

昨年、若手作家の登竜門、國井誠海賞（國井誠海書奨励基金）を受賞した独立書人団の佐藤達也氏が代表

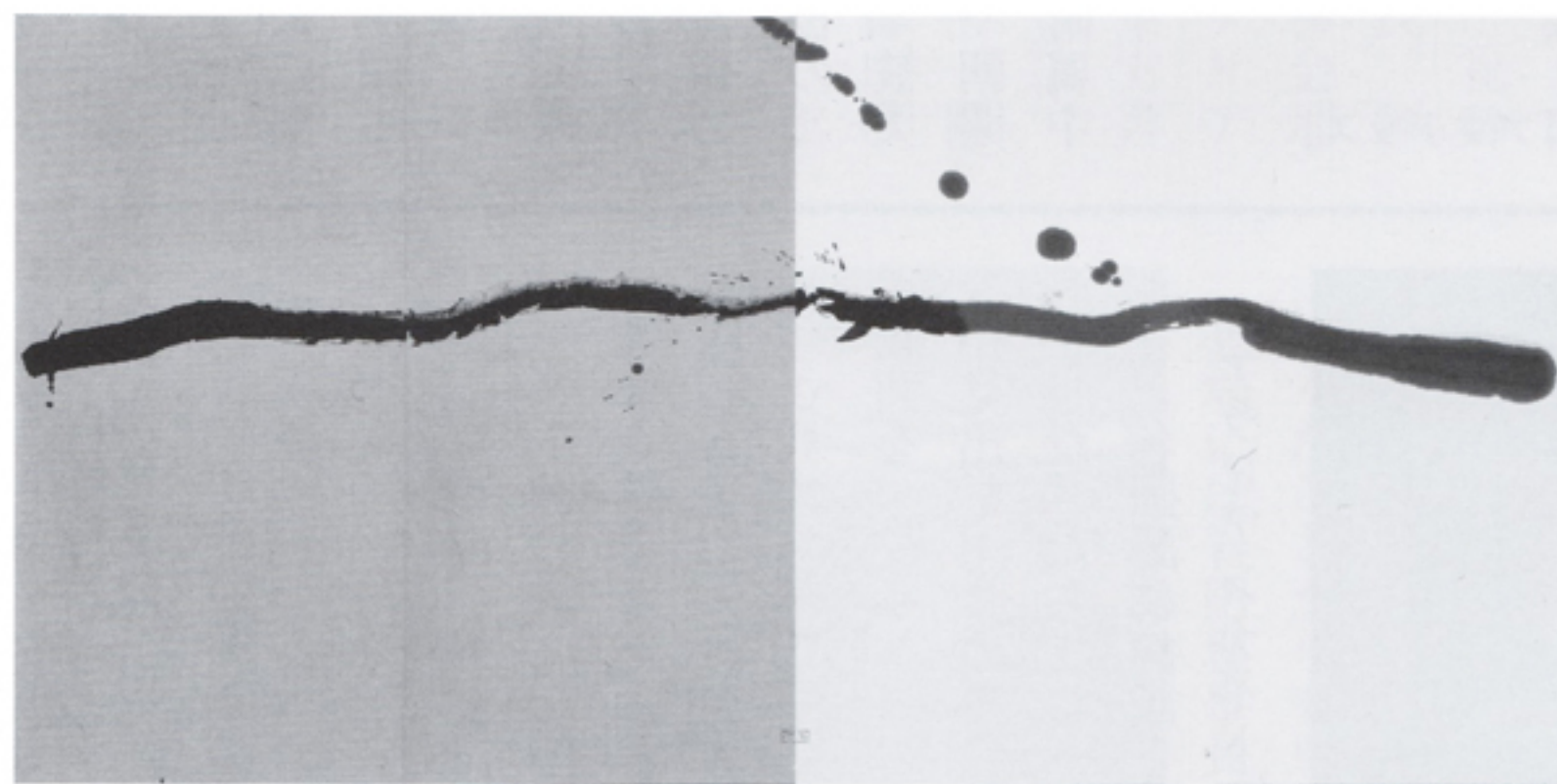
を務める、平成生まれの若手作家によるグループ展「僕らの書展2014」が八月二八日から三二日まで、

東京・池袋の東京芸術劇場五階ギャラリー1・2で開かれた。これまで二〇一〇年と二〇一二年に佐藤氏の地元、栃木で開催しているが、今回念願の東京での開催となった。

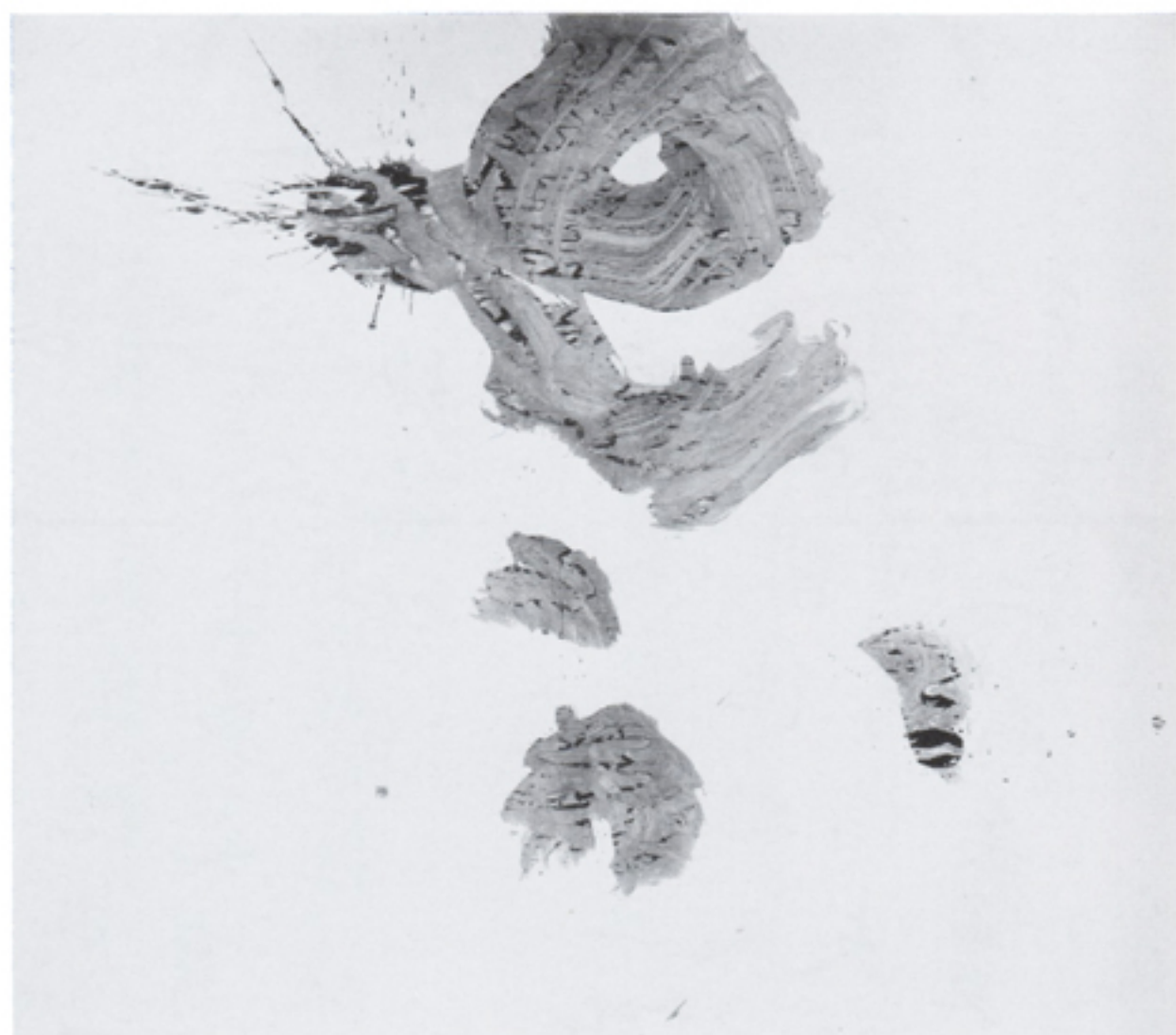
出品は佐藤氏のほか学生八名で、超大作を中心に二七点。佐藤氏は突風を感じさせる、力みなぎる大作



佐藤達也「風」 358×538cm



佐藤達也「はじめ」 136×279cm



長谷川 結「さか」 213×247cm



伊藤聡美「露」 271×477cm

「風」(三五八×五三八)をはじめ、詩文書など四点を発表。長谷川結氏はひらがなの大字で、余白を活かした繊細な「さか」「つかむ」などを発表した。

ほか、出品は秋元央嗣、泉諒治、伊藤聡美、内野直弥、岡佑樹、早川燿、前田耕作の各氏。九名それぞれの個性あふれる作品群で、書に前向きに取り組む姿がうかがえる展観となった。



会場の様子。東京芸術劇場5階ギャラリー